

あざみ

平成19年12月10日発行

第 38 号

山形県立酒田工業高等学校同窓会



校歌

齋藤 勇 作詞
山口のぶ 作曲

- 一、 聳り立つ 巨いなるもの
け高さよ 鳥海の嶺
松の花 にほへる丘に
来り敲く 真理の扉
天地の 秘密にいどみ
われら在り 使命に燃えて
- 二、 風雪に 耐へて花咲く
根勁さよ 鳥海あざみ
象どりて 額にかざし
天駆ける 電波を捉へ
鉄を打ち 極微を計量り
われら立つ 誓ひ新たに
- 三、 みんなみの 境を出でて
豊けさよ 最上の流れ
いく曲り 大地うるほし
そそぎ入る 酒田の港
祖国の 希望を担ひ
われら往く 七つの海を

「同窓会活動と地域活性化」



同窓会長
小松 康信

晩秋の候、酒田工業高校同窓会員の皆様にはおかれましては、各界でご活躍のこと心よりお慶び申し上げます。

最初に同窓会の近況であります、第45回総会を6月22日に開催し、同窓会員は平成19年3月卒業生227名を加えて12632名となったことが報告されました。事業としては、45周年の節目の年に当たりますので名簿を発行し、希望者より購入を頂いております。同窓会誌「あざみ」につ

きましては、今年度より会員全員に配布を致しました。学校へは、ロボット大会等各種事業に協力を行いましたところ、生徒が頑張り優秀な成績を収めております。関東支部につきましては、今まで活動に役員の手弁当に頼ってきた部分があり、後述しますビジネス大使事業等の活性化を図るためにも助成を増やしております。

次に、懸案であります高校の統合につきましては、これまで三校を平成23年度に統合し、将来的に中央校を再統合することで合意していましたが、敷地確保の難しさや中央校の将来的ビジョンの不明確等から、平成24年度に4校を1校に統合し、中央校の敷地も取り組んで生徒にとってより良い教育環境を早期に整備することとなりました。方針が変わることになりご批判も頂きましたが、

この問題を早期に解決し地域生徒の不安を解消すると共に、地域の発展につながる新しい高校が一日も早く出来ることを念願し、理解をしたところです。

いま地方は景気回復にほど遠い現状です。特に酒田市は有効求人倍率も低く、企業誘致が重要課題となっております。そこで商工会議所が中心となり、酒田地区の高校の関東在住の同窓会会員から、企業誘致や提携・発注等の情報を収集し酒田市の経済活性化を目指すことを目的に、各高校関東同窓会の中から「ビジネス大使」を任命し、この方を中心に活動を行うものです。このように同窓会活動も地域社会発展に繋がる活動を今後も推進してまいりますので、皆様のご協力を引き続きお願いいたします。

酒工生は元気です



校長
兼子 健三郎

小春日和の今日11月9日、校舎周りの側溝の泥土を上げる生徒たちの声が元気に響いています。45年の歴史を刻む校舎・校地を自ら整備し、大切に使う活動の一環です。

同窓の皆様には、学校および生徒たちが、様々な形、折々の場面で、心からなる力強いご支援をいただき、厚く感謝申し上げます。

さて、今年は、機械技術・電子機械・情報システム・土木システム・環境エネルギーの5科からなる体制が完成いたしました。時代を先取りし、地域内外の産業を支える人材育成に邁進しております。生徒たちは、

落ち着いた澁刺と日々の学習や部活動等に取り組み、大いに成果を上げています。

日頃の学習成果及びその応用では、県内一を誇る技能試験合格、メカトロアイデアコンテストでの準優勝、IT選手権全国大会出場、GISを活用した酒田の都市計画プラン発表等があります。また、ものづくりの成果を携えての地域連携、ボランティア活動も盛んです。

運動部では、登山・ウェイトリフティング・水泳・少林寺拳法がインターハイ・全国大会に出場しました。野球部は甲子園予選でベスト8となり、甲子園出場30年目に、酒工の名を復活させました。吹奏楽部も県大会優秀校の常連です。

また、進路については、就職が現時点で95%の内定を見ております。希望120余名全員の年内達成も現実味を帯びてきました。景気の地域差もあり、県外が県内を若干上回っています。進学は、大学等の推薦入試突

破に向けてサポートをかけています。

今年は、伝統の運動会が開催されました。収穫進む庄内平野に600の音が轟き、各科個性ある大看板、統制の取れた応援のもと、新競技「棒引き」も加わって、酒工生の底力が炸裂しました。地域数百の皆様にも観覧いただき、生徒たちは「酒工」を噛み締め、同窓の皆様と心において一つになったと信じております。猛暑よりも熱かった野球全校応援もそうでしたが、酒工生の力は無尽蔵です。

酒田新高校（仮称）は、酒田中央高校が統合対象として加わり、平成24年にスタートします。基本構想・教育計画作りが鋭意進められています。酒工は、21年度入学生からは4科体制となり、最終ステージを迎えます。

諸先輩からの誇りを受け継ぎ、「がんばる酒工生」は今後も力強く歩み続けますので、引き続きお力添えをお願い申し上げます。皆様のご健康ご活躍をお祈りいたします。

平成19年度 事業計画

- 1、第1回同窓会三役会議 【松寿し】
平成19年5月22日(火) 午後6時30分
同窓会総会準備・年間計計画・予算
 - 2、同窓会理事会 【 】
平成19年 月 日
 - 3、同窓会名簿発行
平成19年4月29日(日)
発行部数728冊(内購入者386名)
 - 4、第45回同窓会総会
【リッチ&ガーデン酒田】
平成19年6月22日(金) 午後6時30分
 - 5、同窓会関東支部総会
【秋葉原ワシントンホテル】
平成19年11月 日
 - 6、あざみ38号の発行
平成19年12月末
名簿対象会員全員に発送(株)サラト代行
 - 7、第2回同窓会三役会議 【 】
平成20年2月 日() 午後6時30分
第46回同窓会入会式について
 - 8、新幹事説明会 【あざみ会館】
平成20年2月6日(水)
 - 9、同窓会入会式 【酒工体育館】
平成20年2月29日(金)
 - 10、酒工生のものづくりに協力
 - 11、高校再編検討会
 - 12、三校同窓会との交流
- 三役会議・幹事会・理事会・事務局会議は必要に応じて開催

酒工運動会「風よりも速く！烈火のごとく燃えろ！激流のむようにはじけろ！酒工生！」

「がんばった酒工生」



生徒会長
3年機械技術科
佐藤 央

酒工大運動会が行われたのは“9月”の終わり。この“9月”という月が何を意味しているか...

みなさんご存じかとは思いますが、3年生は就職活動真っ只中でした。運動会準備にはどの科も苦労したはずです。3年生がなかなか運動会モードに入れない中、幹部を中心に1,2年生が本当によく頑張ってくれました。運動会当日は、

酒工生の日頃の行いが良すぎたらしく、快晴で最高の運動会日和でした。入場行進からデッドヒートで、どの種目にしても大盛り上がりで見応えたっぷりでした。生徒1人1人が本気になって戦っている姿はとてもまぶしかったです。保護者の方々もたくさん来てくれていたようですし、我が子の勇姿をさぞかし目に焼き付け見届けたことでしょう。

結果は機械技術科の2連覇で幕を閉じましたわけですが、各科それぞれが「がんばる酒工生」の名に恥じないような全力で最高の運動会を作り上げることができたのは、私たちにとって大きな財産となりました。ぜひ、来年度以降も伝統の大運動会をやり続けてもらいたいです。



100m走



選手宣誓



依運搬リレー



騎馬リレー



応援コンクール



棒引き

運動会結果

< 競技総合順位 >

順位	科名	得点
1位	機械技術科	440
2位	土木システム科	401
3位	電子機械科	378
4位	環境エネルギー科	247
5位	情報システム科	205

< 応援コンクール順位 >

順位	科名	得点
1位	機械技術科	1328
2位	電子機械科	1307
3位	環境エネルギー科	1226
4位	土木システム科	1220
5位	情報システム科	1089

ラグビー高校日本代表オーストラリア遠征 新聞 世志輝

私は今年の8月に高校日本代表としてオーストラリア遠征に参加しました。

その際、改めて「心・技・体」の重要性を感じました。

まず、体という部分では、パワーの差を見せつけられました。また、スピードや体力、瞬発力、全てにおいて自分たちを上回っていました。

技術の面では、外国の選手は意外とパスなどが雑だったのでパスを見ると自分達の方が上回っていると感じました。全国の強豪チームのパスは正確で、しかもスピードがあって驚かされました。

心、精神の面ではコミュニケーションがなかなか取れずチームの結束力に欠けてしまいましたが、第3戦、

第4戦になるとコミュニケーションが取れるようになり、信頼関係が深まってやっと一つのチームが出来たような感じがしました。

この遠征で、自分なりに「心・

技・体」の重要性に気付くことが出来ました。オーストラリア遠征での経験をこれからのラグビーに活かしていきたいです。



各科だより



普通科 佐藤りか先生

酒工同窓生の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。今春の人事異動で次の先生方が転出及び退職なされました。数学の直井暢之先生、理科の岩澤智子先生、保健体育の新館利丸先生、英語の小野友幸先生です。後任として、数学の池田健先生、理科の千田満先生、英語の若月智里先生をお迎えし、平成19年度がスタートいたしました。今年度の1年生には、機械技術科に数学の星川友昭先生、情報システム科に国語の田中恵子先生のお二人が担任として活躍されております。日常の学校生活や就職・進学等の様々な場面でコミュニケーション能力が求められております。普通科では、幅の広い基礎学力と教養を身につけさせ、生徒一人ひとりの能力を高めるとともに、それが発揮できるように就職・進学指導等の充実を目指して取り組んでおります。



機械技術科 伊藤兵吉先生

同窓生の皆様には、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて最近の機械科の近況をご報告申し上げます。春の職員の移動では安彦先生の替わりで応援を頂いていた堀彰太先生（H14年化学卒・常勤）は電子機械科へ、替わって阿部和秀先生（H7年機械卒・常勤）から9月まで応援を頂きました。小山剛史先生（H14年機械卒・常勤）は引き続きとなります。長く療養されていた安彦先生は、

治療の甲斐もあって10月1日より復職され、以前同様元気に働いております。担任は3年機械科技術科が八柳柳俊先生（公民科）、副担任大瀧善弘先生、2年担任は小山大央先生、副担任池田健先生（数学）、1年担任は星川友昭先生（数学）副担任五十嵐航先生の体制で頑張っております。生徒たちも先生方に負けじと相変わらず元気に頑張っています。今年も3年機械科技術科が「あざみ杯」を獲得しこれで4年連続となりました。また今年度は3年ぶりに伝統ある酒工大運動会が開催されました。今の3年生は運動会経験のない生徒達でしたが、先輩のビデオを見たり、自分たちで構想を練ったりしながら、後輩達とも力を合わせながら、見事3年前に引き続き競技優勝・応援優勝を勝ち取りました。中でも応援合戦は先輩譲りの硬派の応援で、運動会を見に来てくれた多くの人たちを感動させてくれました。3年生の就職戦線も順調で、10月中に28内定を頂きました。残りは進学者のみでこれも全員合格を目指しております。最後に同窓生の皆様方のご活躍を御祈念申し上げます。



電子機械科 工藤 茂先生

電子機械科は、今年で創設10年の節目の年を迎えました。この10年間「ものづくりをとおした人づくり」を目標に率先垂範で頑張っており、春の職員移動では、清野和敏先生が長井工業高校に転勤となり、替わって機械技術科より堀彰太先生（平成14年化学技術科卒）が赴任しました。今年度も各種資格取得やものづくりの大会・コンテスト等では、生徒たちが意欲的に挑戦・参加をしています。10月21日に行われました「第16回山形県メカトロアイデアコンテ」には、電子機械科で計3台が出場し、その中の1台「キャロル」号が第2位という輝かしい成績を残してくれました。どの班も夜遅くまで

（学校に泊まったり）しながら、やっと完成させたマシンでの出場であり、よく頑張ってくれました。課題研究で作成した地震体験マシン「起振くん」が、自治会や小学校等での防災・避難訓練で引っ張りだこで、嬉しい悲鳴が続いています。「ものづくりの電子機械科面目躍如」といったところです。学校にもお越し頂き近況をお聞かせ下さい。



情報システム科 古川武秀先生

酒工同窓会の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年度の情報システム科は、遠田幸平先生が新規採用となり、本校勤務となりました。また、4月から8月末まで大場陽子先生、その後9月以降は村上崇先生を迎え、授業は勿論、運動会などの各行事でも活躍しているところです。これまでの職員に加え、新たな方を迎えて一層の厚みを増しながら活動しているところです。今年度はマイコンカーラリー山形県大会が酒田市で開催することになり、情報システム科が大会運営にあたりました。忙しい最中でしたが、各科の先生方からの援助により、無事大会を終了することができました。結果は本校からは全国大会に出場することは出来ませんでした。運営に携わった生徒の仕事ぶりを見ていると、その役割の中で成長することができたものと感じております。他の生徒達も資格取得に力を注ぎ、情報処理技術者試験をはじめとする多くの資格を取得するなど成果を残しています。さらに、そこで培った知識を活かし、全国高等学校IT・簿記選手権大会では、山形県で初となる団体出場を果たしています。個人では池田嶺（3年）が、全国で第27位という活躍。その他にも、酒田市創意くふう展や県発明くふう展にも出展して入賞するなど成果を上げています。これも同窓会の皆様のお力添えが



機械技術科



電子機械科



情報システム科

あってこそ心からお礼を申し上げますとともに、未筆ではございますが、皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げます。



土木システム科
是谷 実先生

同窓生の皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

平成17年度の学科改変により土木システム科に変わり、今年度は完成年度を迎えました。中学生や地元企業のニーズに対応するため、建築と情報の分野を取り入れる学習内容にしました。その結果として、大学への進学者は、建築系や情報系学科へ進む生徒がほとんどで、就職でも建築を目指す生徒が増えました。

あくまでも土木を学ぶ学科ですが学習する内容は、時代の進展や地域のニーズに応え変化させております。しかし、新たにいろいろな分野を学ぶ分、土木の専門分野を減らさなければいけません。土木技術者としての力量が不足していくことを懸念しております。

そして、平成21年度には新たな学科改変が訪れます。その際土木という学科はなくなる計画ですが、学習内容として土木の分野は残すことになっております。庄内唯一の土木系学科として、これからも建設産業を支える人材を育成しなければならないと考えております。ご指導よろしくお願いいたします。

1月2日3時「新年祝賀会」でお



土木システム科

会いましょう。皆様のご活躍を祈念いたします。



環境エネルギー科
高橋 裕先生

同窓会の皆様におかれましては、ますますお元気で活躍のことと存じます。

今年度は最初の環境エネルギー科卒業生を送り出す年となりました。職員の異動としては、昨年、科長として活躍いただいた高橋亮先生、伊藤吉樹先生、門脇憲之先生が鶴岡工業に転勤、竹内信先生が退職され、民間企業でご活躍しております。また、学科改変により電気科と化学技術科がなくなり、平山雅啓先生が鶴岡工業へ転勤、富樫光一先生、村上正和先生を迎えました。

伊藤造先生は3年環境の担任として、阿部泰裕先生は総務部長と小学校への出前授業にがんばっております。また、佐藤幸治先生は1年環境の担任とボクシング部の指導に忙しい日々を送っております。若木実先生は陰の力として我々の科の職員をサポートしてくれております。

生徒たちは日々の学習と庄内砂丘の森林整備、日向川の水質調査など地区の環境整備事業にがんばっております。

最後になりましたが、今後とも同窓会の皆様のご活躍をご記念いたします。



環境エネルギー科

各種検定・資格試験取得状況

名称	級・種・系	取得者数
基礎製図検定		66名
機械製図検定		22名
CAD検定	機械系	2名
	建築系	6名
全工リスニング英語検定	1級	2名
	2級	33名
	3級	73名
日本漢字能力検定	準2級	3名
計算技術検定	2級	5名
	3級	73名
情報技術検定	2級	22名
	3級	2名
技能検定3級	機械加工・普通旋盤	5名
	マシニングセンター	4名
	電子機器組立	8名
	機械保全・電気系保全	3名
QC検定	3級	2名
危険物取扱者試験	乙種1類	9名
	乙種2類	12名
	乙種3類	7名
	乙種4類	32名
	乙種5類	7名
	乙種6類	17名
ガス溶接技能講習		74名
アーク溶接特別教育講習		38名
第2種電気工事士		14名
基本情報技術者試験		1名
初級システムアドミニストレーター試験		1名
工事担当試験	DD第1種	1名
	DD第3種	1名
陸上特殊無線技士	2級	3名
海上特殊無線技士	2級	2名
火薬類取扱保安責任者試験	甲種	10名
	乙種	3名
小型車両建設機械特別講習		16名
ジュニアマイスター	ゴールド	3名
	シルバー	2名

平成18年度末
職員人事異動

転出	転入
事務次長 新館 明 (店総受付)	校 長 兼子健三郎 (天童)
事務長 佐藤 薫 (店総受付)	数 学 池田 健 (新採)
環 境 門脇 憲之 (鶴岡工業)	理 科 千田 満 (長井)
環 境 高橋 亮 (鶴岡工業)	英 語 若月 智里
環 境 伊藤 吉樹 (鶴岡工業)	電 子 機 械 堀 彰太
化 学 竹内 信	事 務 次 長 古家 太樹 (店総受付)
電 気 平山 雅啓 (鶴岡工業)	事 務 長 塩原 清 (店総受付)
電 子 機 械 清野 和敏 (長井工業)	理 科 岩澤 智子 (酒田商業)
理 科 岩澤 智子 (酒田商業)	数 学 直井 暢之 (酒田西)
校 長 阿部 寛 (県博物館)	

インターハイ出場 水泳部



3年電子機械科 佐藤 雄大

私は、今年度の佐賀インターハイと秋田国体に出場しました。インターハイでは、猛暑の中で200mと400mの自由形に出場し、200m自由形ではもう少しで決勝に残れたので悔しかったです。次の国体では、個人で400m自由形と去年2位になった800mフリーリレーに出場しました。400m自由形ではあと少しで自己ベストの記録でした。800mフリーリレーではみんなで力を合わせて頑張ったのですが、12位でもう少しで決勝でした。私はこれからも水泳を続けていくので、今回の悔しさを活かして頑張っていきたいです。

インターハイ出場

ウエイトリフティング部



3年情報システム科 菅井 智行

大会は、佐賀県唐津市にて行われました。私は前年度出場した先輩と同じ階級の56kg級で試合に臨みました。結果はスナッチ70kg、ジャーク91kgで25位でした。大幅な減量によって、自分の力を出し切ることができなかった悔いは残りますが、この舞台に立つために頑張ってきた3年間の厳しい練習は、私を強く大きく成長させてくれました。ここまで頑張ってきた理由は、顧問の先生方や家族、そしてたくさんの人達から支えられたおかげだと思います。私は部活動を通して、運動や体の仕組みについて、色々な知識を身に付けることができました。来年もぜひ後輩に全国大会へ出場してがんばってもらいたいと思います。

インターハイ出場 山岳部



3年土木システム科 渡會 出

私は8月に佐賀県嬉野市で行われたインターハイに出場しました。酒工の山岳部がインターハイに出場するのは5年ぶり、前回出場したときには途中リタイヤという結果だったので、今回はいい結果を残そうと

意気込んでいました。しかし、本番では九州の暑さと体力不足で43位という結果に終わってしまいました。

来年は埼玉県でインターハイが行われるので、後輩には今回の失敗を活かして、来年はいい結果を残してほしいと思います。

全国大会出場

少林寺拳法部



3年電子機械科 齋藤 祐紀

今年の全国大会は、特に団体演武に力を入れ、合宿をし、日々の練習に励みました。新入部員も加わったため、今までにないハードな練習になりました。そのハードな練習に文句も言わずついてきてくれた部員に感謝しています。惜しくも決勝トーナメントに進出することが出来ませんでした。大会までの練習で部員に強い団結力が生まれ、より絆が深まったように感じました。私は、高校生最後の大会にこのメンバーで出場出来たことをとても嬉しく思っています。応援して下さいました諸先生、保護者の方々に感謝しています。

全国大会出場

情報技術部



3年情報システム科 池田 嶺

私は7月に行われた全国高等学校IT・簿記選手権大会の南東北大会に参加しました。昨年は団体の部で全国大会に出場することができませんでしたが、みんなで団結して勉強しあった結果、個人優勝、団体準優勝を受賞し、個人での全国大会出場は勿論、山形県で初となる団体での全国大会出場を果たしました。全国大会では、一致団結して大会に挑みましたが、昨年より順位はよかったものの入賞には至りませんでした。3年生はこれで終わりになりますが、2年生には来年こそ全国大会で上位入賞できるように頑張ってもらいたいと思います。

メカトロアイデアコンテスト準優勝

電子機械技術部



2年電子機械科 後藤 雄平
電子機械技術部は10月21日鶴岡工業高校でおこなわれた第16回メカトロアイデアコンテスト(ロボタワー競技会)で見事準優勝することが出来ました。春から構想を練り、夏休み中に頑張っ、ようやく完成したマシンで結果を出すことが出来ました。予選は30チーム中6位でしたが、本選では順調に勝ち進み決勝に進むことが出来ました。決勝は16対26で負けてしまいました。来年の全国大会出場の権利を得られたようです。全国大会出場が決した時はよろしくをお願いします。

東北大会出場

陸上競技部



3年環境エネルギー科 高木 一樹

私、6月中旬に秋田市で行われた東北総体の110mハードルに出場しました。準決勝のレースでハードルに接触してしまい競り勝てず、目標としていたインターハイ出場はなりませんでしたが、自己ベストタイムで走ることができて、悔いはありません。今まで支えて頂いた多くの方々へ感謝し、共に走ってきた後輩達に私が叶えられなかった夢を託したいと思います。

甲子園予選ベスト8

野球部



3年土木システム科 高橋 真澄

昨年は一回戦で敗退という結果でした。しかし、僕達の目標は一回戦突破ではなく「甲子園優勝」でした。小さい目標を立てるよりも、大きい目標を立てた方が頑張れると思ったからです。その目標を達成するために日々の練習を頑張りました。

結果はベスト8で、自分達が立てた目標は達成できず中途半端に終わってしまいました。しかし、悔いはありません。最高のプレーをたくさんの人達に見せることができたからです。後輩達には、必ず甲子園に出場してもらいたいと思います。がんばれ！酒工生！

平成19年度 学校行事

入学式



対面式



応援歌練習



壮行式



スポーツテスト



球技大会



修学旅行



エコアクション



お知らせ

「会報発行協力金」へのご協力を宜しくお願い致します。
1口2,000円を同封致しました振込用紙を使用してご入金をお願い致します。

平成19年3月卒業

新幹事紹介

地元幹事(12名)

機械科 佐藤 聡

山形日本電気株式会社

小林 雄

東北電機株式会社

齋藤 彰太

株式会社マルハチ

佐藤 幸彦

東北電機株式会社

石谷 雅宏

大信電設工業株式会社

本多 洋人

株式会社MIP

池田 新

株式会社ヨシエエンジニアリング

小倉 哲郎

株式会社飯塚製作所

佐藤 圭介

株式会社丸高

佐藤 偉

林建設株式会社

石川 毅

有限会社酒田鉄工クラブ

渡部 良祐

日本重化学工業株式会社酒田事業所

関東支部幹事(6名)

機械科 佐藤 真俊

住友重工業株式会社鹿島製鉄所

電子機械科 小野 遼介

キヤノン株式会社

電気科 小山 洋平

日鉄鋼板株式会社船橋製造所

情報技術科 佐藤 大生

ホンダエンジニアリング株式会社

土木科 佐藤 大介

警視庁

化学技術科 富樫 光

株式会社日本触媒

平成18年度 事業報告

- 1、第1回同窓会三役会議【松寿】
平成18年4月21日(金)午後6時30分
同窓会総会について
名簿発行について
- 2、酒田商業高校紫紺同窓会総会参加
【ヘルナール酒田】
平成18年5月10日(水)
- 3、第44回同窓会総会
【リッチ&ガーデン酒田】
平成18年6月23日(金)午後6時30分
- 4、名簿発行調査開始
平成18年7月
(株)サト代行
- 5、酒田北高校躬耕同窓会総会参加
【ルボット・フー】
平成18年9月2日(土)
- 6、酒田特別講演(酒田技術フォーラム)
【酒田体育館】
平成18年9月30日(土)
岡田 修(昭和50年機械科A組卒)
「津軽三味線」
- 7、地元出身者企業情報収集に関する懇親会
【東京都】
- 8、同窓会関東支部総会
平成18年11月6日(月)
【秋葉原ワシントンホテル】
平成18年11月18日(土)
- 9、あざみ37号の発行
平成18年12月15日
名簿調査対象会員104000
部発送(株)サト代行
- 10、新幹事説明会【あざみ会館】
平成19年2月6日(火)午後12時
- 11、第2回同窓会三役会議【松寿】
平成19年2月8日(木)午後6時30分
- 12、同窓会入会式【酒田体育館】
平成19年3月1日(木)
- 13、酒工生のもづくり協力
各科のもづくり事業に支出 20万
酒工だん吉号に援助 10万